

地図で見るとつくば市の変化

2年C組 28番

川島 絢子

～3つの大きな出来事を経て～

動機 今は建物や住宅が多い研究学園都市ですが、昔はどのような姿で、どのように変わったのか知りたかったから。

目的 研究学園都市建設、1985年の科学万博、TX開通を経て、つくば市がどのように変化したのか調べる

調査方法 1960, 1972, 1995, 2007, 2016年の地図を、針葉樹林・広葉樹林、荒地、果樹園ごとに着色し、土地利用の変化を読み取る。

針葉樹林・広葉樹林 ● 田畑 ● 荒地 ● 果樹園 ●

地図① 1960年昭和35年 つくば市の地図



研究学園都市が建設される前の地図は、森林、田畑、荒地などがとても多く、この場所が今の研究学園都市になることを想像するのは難しい。

1963年、筑波山麓に研究学園都市を建設することが決まり、1970年ごろから、都市建設と研究機関の移転が進んだ。

東大通りや西大通りができて、研究学園都市の中心部ができた。また、日本自動車研究所などの研究所が増えていることが分かる！

地図② 1977年昭和52年

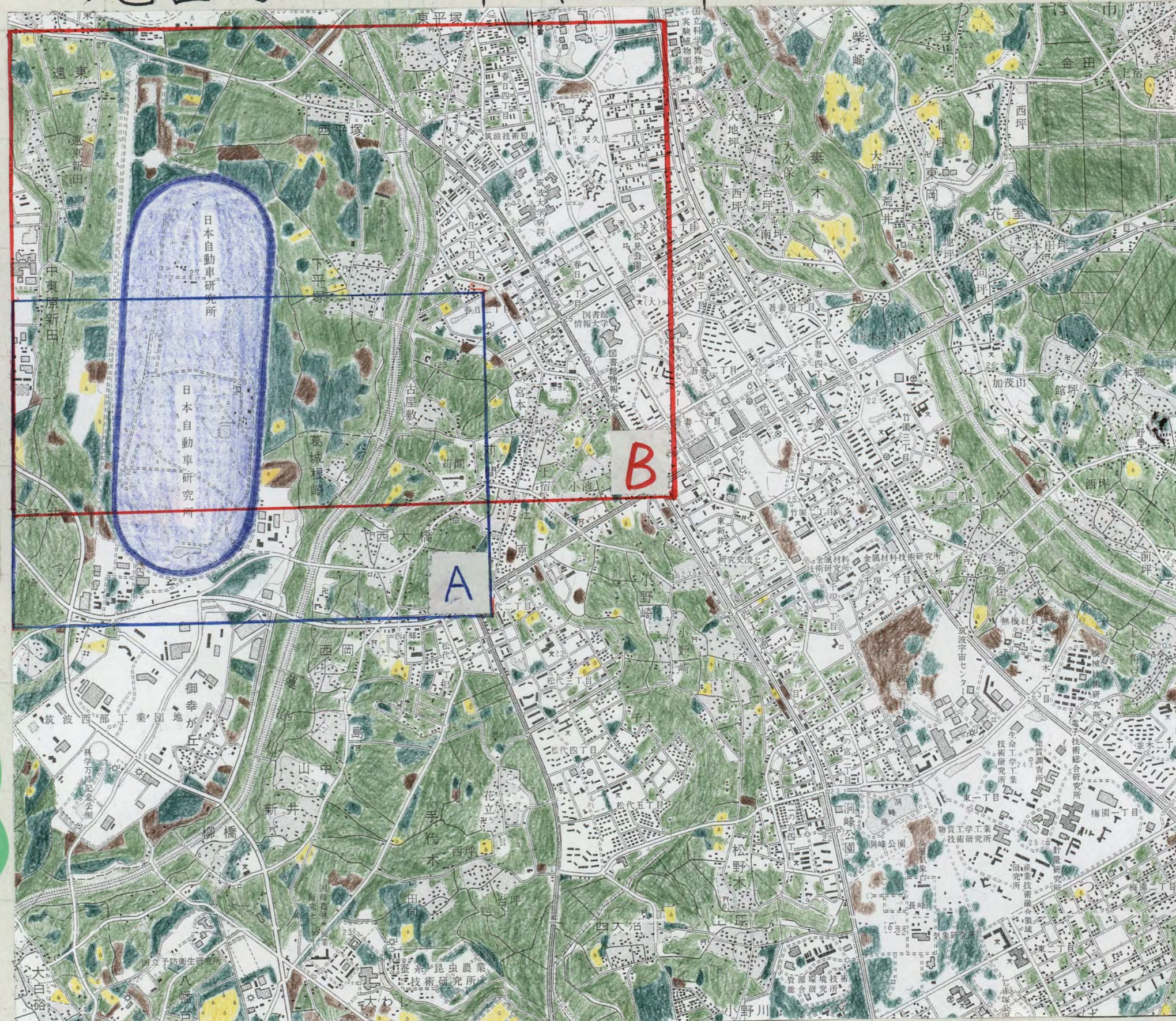


1985年、当時の谷田部町を科学万博の会場として使う。科学万博の後、つくば市の中心部に住宅が増える。

西大通り



地図③ 1995年平成5年



科学万博前の地図

★ TXが開通して変化したこと

TXが開通したことで、宅地開発が進み、日本自動車研究所の面積が半分以上に減っている。

研究学園駅の周辺に建物や住宅が増えている。

研究学園駅周辺の住宅地

科学万博当時の写真奥に見えるのが日本自動車研究所、手前が科学万博会場。現在は筑波西部工業団地として使われている。

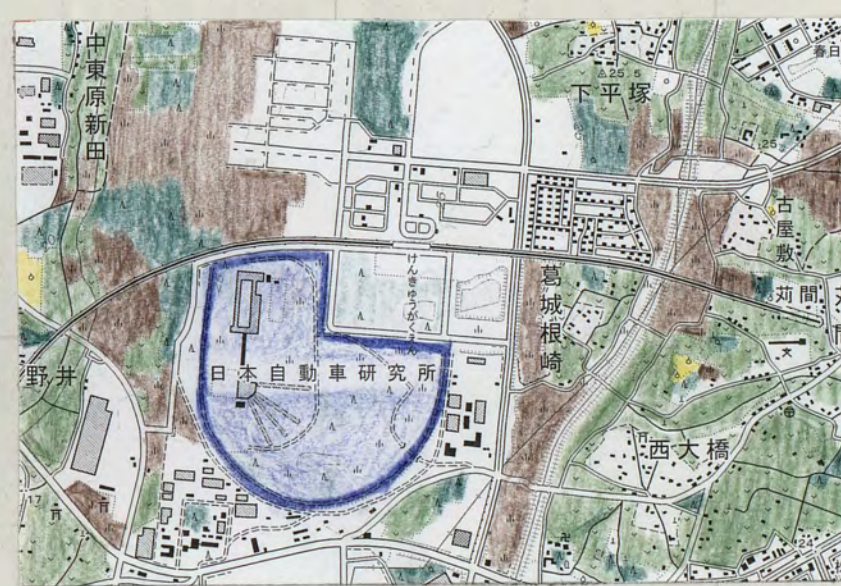
筑波西部工業団地



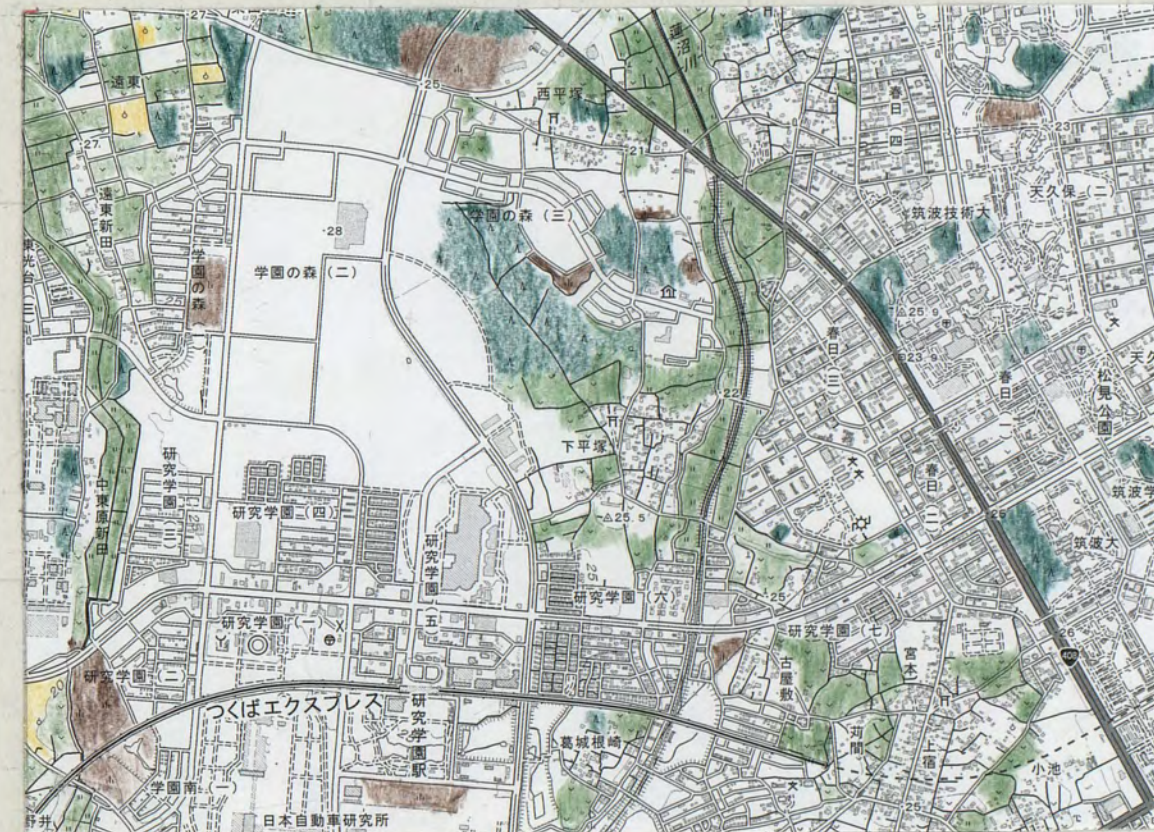
また、日本自動車研究所、筑波西部工業団地の周りには緑の部分が多く残っている。



TXの線路



A' 地図④ 2007年平成19年 25000分の1



B' 地図⑤ 2016年平成28年 25000分の1

考察

つくば市の変化の全体を見ると少しずつ変わっています。しかし、TX開通前と後では急激に変化していて、線路が通ったことで土地が開発されたり、建物や住宅が増えています。地図を比べることでこのような変化を発見できたので、とてもおもしろかったです。

参考文献

- 谷田部の歴史
- 地図で見るとつくば市の変遷
- 記録写真集 科学万博 つくば'85